



第3回 高・低気圧ワークショップ

開催日時：2022年1月21日

開催場所：オンライン

プログラム

9:30-9:35 趣旨説明

9:35-10:00 山本 晃立(東大大気海洋研)

・渦間相互作用に着目した寒冷渦の維持メカニズム

10:00-10:25 中村 昇(シカゴ大学)

・アメリカ北西部熱波(2021)を引き起こしたブロッキング高気圧と、その高気圧を引き起こした上流の低気圧およびその非断熱効果について

10:25-10:40 休憩

10:40-11:05 山崎 哲(JAMSTEC)

・成層圏突然昇温時の解析スプレッドの振る舞いについて

11:05-11:30 栃本 英伍(防災科研)

・梅雨低気圧の構造と環境場の統計解析

11:30- 12:00 お昼休憩(JPCZ 特別観測陸上支援)

14:00-14:25 岡島 悟(東大先端研)

・オイラー統計における高低気圧性渦の役割の理解に向けて

14:25-14:50 吉田 聡(京大防災研)

・真冬の北太平洋爆弾低気圧活動の1980年代後半からの急激な活発化

14:50-15:15 春日 悟(三重大)

・日本域へ到来する寒冷渦の気候的特徴

15:15-15:30 休憩

15:30-15:55 蔣 英男(名大環境学研究科)

・Composite time-series analysis of near-surface aerosols in strong wind events at Cape Hedo

15:55-16:20 入江 健太(京大理学研究院)

・2021年台風8号(Nepartak)の寒冷渦に支配された構造・経路について

16:20-16:45 柳瀬 亘(気象研)

・亜熱帯低気圧の特徴を示した台風 Kirogi (2012)

16:45-17:10 平田 英隆(立正大)

・黒潮大蛇行に対する爆弾低気圧の応答プロセス

17:10-17:30 総合討論